

第3回亀岡市立病院経営強化プラン策定検討委員会 次第

日時 令和5年8月7日(月)
午後3時00分～4時00分
場所 市立病院ウェルネスホール

1 開 会

2 委員構成について

3 議 事

- (1) 令和5年度第1回 南丹地域医療構想調整会議について
- (2) 新中期計画実績、病院事業会計推移について
- (3) 亀岡市立病院の方向性について(意見交換)
- (4) その他

3 閉 会

次回開催予定日 令和5年 月 日() : ~

令和5年度 第1回 南丹地域医療構想調整会議

次 第

日時: 令和5年7月27日(木)14:00～

会場: 南丹市国際交流会館 第1会議室

1 開会

2 あいさつ

3 議事

(1) 外来医療における紹介受診重点医療機関の公表について 【資料1】

(2) 医師の働き方改革について 【資料2】

(3) 公立病院経営強化プランについて 【資料3】

(4) 地域医療提供体制データ分析チーム構築支援事業について 【資料4】

(5) 令和5年度南丹地域医療構想調整会議の進め方について 【資料5】

(6) その他

4 閉会

紹介受診重点医療機関について

○ 外来機能の明確化・連携を強化し、患者の流れの円滑化を図るため、医療資源を重点的に活用する外来の機能に着目して、以下のとおり紹介患者への外来を基本とする医療機関(紹介受診重点医療機関)を明確化する。

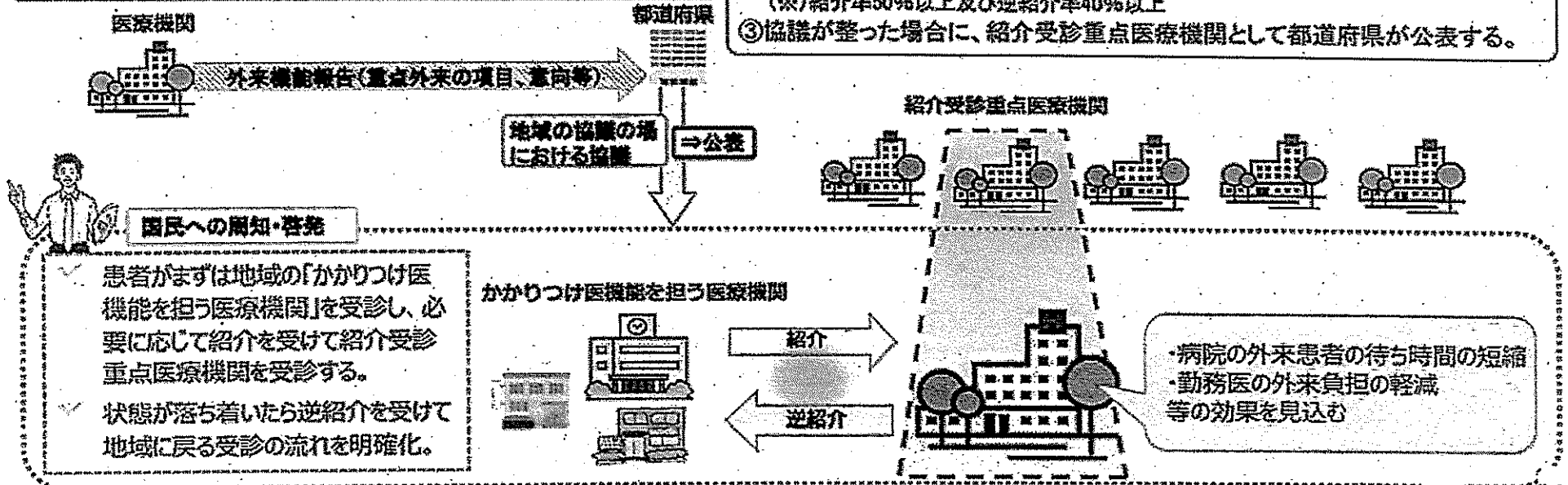
- ① 外来機能報告制度を創設し、医療機関が都道府県に対して外来医療の実施状況や紹介受診重点医療機関となる意向の有無等を報告し、
 - ② 「地域の協議の場」において、報告を踏まえ、協議を行い、協議が整った医療機関を都道府県が公表する。
- ※ 紹介受診重点医療機関(一般病床200床以上の病院に限る。)は、紹介状がない患者等の外来受診時の定額負担の対象となる。

【外来機能報告】

- 「医療資源を重点的に活用する外来(重点外来)」等の実施状況
 - ・ 医療資源を重点的に活用する入院の前後の外来
 - ・ 高額の医療機器・設備を必要とする外来
 - ・ 特定の領域に特化した機能を有する外来
- 紹介・逆紹介の状況
- 紹介受診重点医療機関となる意向の有無
- その他、地域の協議の場における外来機能の明確化・連携の推進のための必要な事項

【地域の協議の場】

- ① 医療資源を重点的に活用する外来に関する基準(※)を満たした医療機関については、紹介受診重点医療機関の役割を担う意向を確認し、紹介率・逆紹介率等も参考にしつつ協議を行う。
 - (※) 初診に占める重点外来の割合40%以上 かつ
再診に占める重点外来の割合25%以上
- ② 医療資源を重点的に活用する外来に関する基準を満たさない医療機関であっても、紹介受診重点医療機関の役割を担う意向を有する医療機関については、紹介率・逆紹介率等(※)を活用して協議を行う。
 - (※) 紹介率50%以上及び逆紹介率40%以上
- ③ 協議が整った場合に、紹介受診重点医療機関として都道府県が公表する。



紹介受診重点医療機関の公表にかかる基準

厚生労働省作成の「外来機能報告等に関するガイドライン」（令和5年3月31日改正）より、外来機能報告において医療機関の意向を確認した上で、以下の基準が示されている。

《公表基準》

医療資源を重点的に活用する外来（重点外来）に関する基準（AかつBを満たす）

A：初診の外来件数のうち「重点外来」の件数の占める割合 $n \geq 40\%$

B：再診の外来件数のうち「重点外来」の件数の占める割合 $n \geq 25\%$

《参考とする基準》

上記を満たさない医療機関においては、紹介率・逆紹介率を参考とする。

紹介率： $n \geq 50\%$ 及び 逆紹介率： $n \geq 40\%$

紹介受診重点医療機関の公表への意向ありの医療機関（南丹）

【地域医療支援病院】

医療機関名	「重点外来」の占める割合			参考：紹介率・逆紹介率		
	基準との比較	初診における割合(n≥40%)	再診における割合(n≥25%)	基準との比較	紹介率(n≥50%)	逆紹介率(n≥40%)
京都中部総合医療センター	○	42.8%	39.9%	▲	30.7%	51.1%

【その他病院】

該当なし

《参 考》

- ・ 上表の注釈・・・○：基準を満たす、▲：全部又は一部の基準を満たさない。
- ・ 「重点外来」の占める割合・・・令和4年度外来機能報告より抽出。報告時点はR3.4.1～R4.3.31の1年間。
- ・ 紹介率・逆紹介率・・・令和4年度外来機能報告より抽出。報告時点はR4.7.1～R4.7.31の1か月間。

医師の時間外労働規制について

一般則

- 【時間外労働の上限】
- (例外)
- ・年720時間
 - ・複数月平均80時間 (休日労働含む)
 - ・月100時間未満 (休日労働含む)
- 年間6か月まで

(原則)

- ・1か月45時間
- ・1年360時間

2024年4月～

年1,860時間 / 月100時間未満 (例外あり)
 ※いずれも休日労働含む

年1,860時間 / 月100時間未満 (例外あり)
 ※いずれも休日労働含む
 ⇒将来に向けて縮減方向

年960時間 / 月100時間未満 (例外あり)
 ※いずれも休日労働含む

A : 診療従事勤務医に2024年度以降適用される水準

連携B
例水準
 (医療機関を指定)

B
 地域医療確保暫定特

C-1
集中的技能向上水準
 (医療機関を指定)

C-2

C-1 : 臨床研修医・専攻医が、研修プログラムに沿って基礎的な技能や能力を修得する際に適用
 ※本人がプログラムを選択

C-2 : 医籍登録後の臨床従事6年目以降の者が、高度技能の育成が公益上必要な分野について、指定された医療機関で診療に従事する際に適用
 ※本人の発意により計画を作成し、医療機関が審査組織に承認申請

将来
 (暫定特例水準の解消 (= 2035年度末を目標) 後)

将来に向けて縮減方向

年960時間 / 月100時間 (例外あり)
 ※いずれも休日労働含む

A

C-1 C-2

※この(原則)については医師も同様。

※連携Bの場合は、個々の医療機関における時間外・休日労働の上限は年960時間以下。

月の上限を超える場合の面接指導と就業上の措置

連続勤務時間制限28時間・勤務間インターバル9時間の確保・代償休息のセット (努力義務)

※実際に定める36協定の上限時間数が一般則を超えない場合を除く。

連続勤務時間制限28時間・勤務間インターバル9時間の確保・代償休息のセット (義務)

連続勤務時間制限28時間・勤務間インターバル9時間の確保・代償休息のセット (義務)

※臨床研修医については連続勤務時間制限を強化して徹底

連続勤務時間制限28時間・勤務間インターバル9時間の確保・代償休息のセット (努力義務)

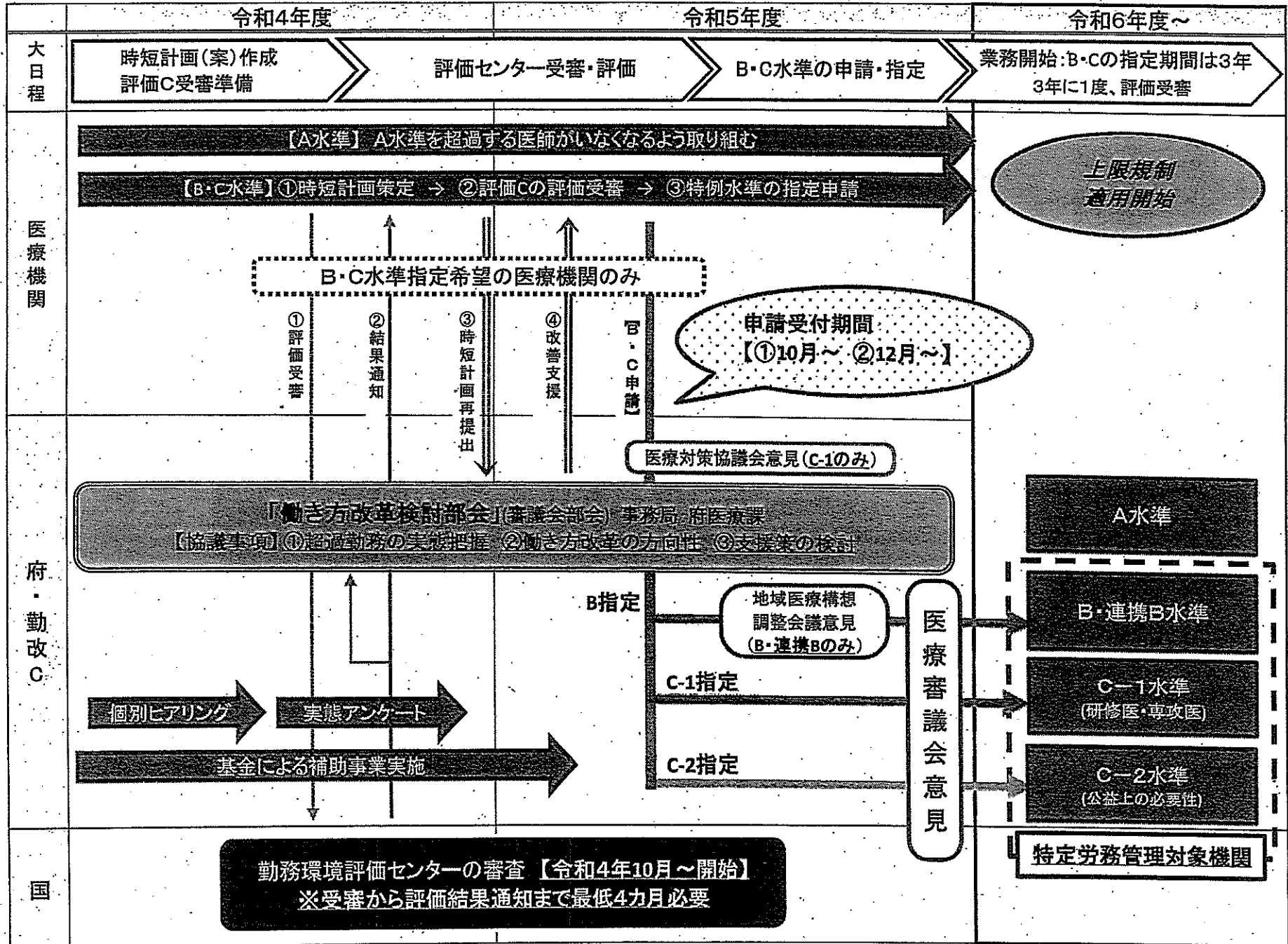
※実際に定める36協定の上限時間数が一般則を超えない場合を除く。

連続勤務時間制限28時間・勤務間インターバル9時間の確保・代償休息のセット (義務)

【追加的健康確保措置】

※あわせて月155時間を超える場合には労働時間短縮の具体的措置を講ずる。

【働き方改革全体スケジュール】



※評価受審はB、C水準の申請を希望する医療機関のみ

医師等の働き方改革について

【概要】

医師の時間外労働への上限規制の適用が開始される令和6年4月以降、年960時間超の時間外・休日労働が可能となるのは、都道府県知事による下記の指定を受けた医療機関となる。

- B水準…地域医療の確保のため、自院の勤務のみで超過勤務が年960時間を超える医師が在籍する医療機関（年1,860時間まで）
- 連携B水準…地域医療の確保のため、派遣先も含めた超過勤務が年960時間を超える医師が在籍する医療機関（年1,860時間まで）

「医師の働き方改革の推進に関する検討会」中間とりまとめ（R2.12.22）より
 Bまたは連携B水準を適用することが「地域の医療提供体制の構築方針（医療計画等）と整合的であること」、「地域の医療提供体制全体としても医師の長時間労働を前提とせざるを得ないこと」について、必要に応じて地域医療構想調整会議に意見を聴くこととされている。

【御意見を頂きたい事項】

- ◎地域の医療提供体制の観点から、特例水準の取得意向について懸念がないか。（取得が必要と思われる病院が取得を希望していない等がないか）
- ・その他、宿日直許可の取得状況等懸念するところがないか。

◆南丹医療圏の病院の状況（R5.2月実施のアンケート及び個別の聞き取りから集計）

対象医療機関	特例水準要件該当※1	特例水準申請予定	救急車受入件数 (R3年度)	救急告示	評価C受審予定	宿日直許可の状況※2
亀岡病院			-			準備中
亀岡シミズ病院	⑤		661	○		○
花ノ木医療福祉センター			-			○
亀岡市立病院			560	○		○
京都中部総合医療センター	②④	B	2,682	○	6月末	準備中
丹波笠次病院			-			準備中
国保京丹波町病院			155	○		○
明治国際医療大学付属病院	⑤		-			○
園部病院			230	○		結果待ち

※1:特例水準の要件

- ①機能強化型在支病・在支診（単独型）、②総合・地域周産期母子C、③3次救急、④2次救急かつ救急車の受入年1,000件以上または時間外入院受入年500件以上、⑤5疾病・6事業を担う病院として府

保健医療計画に位置付け、⑥公共性・不確実性が強い病院

※2：宿日直許可の状況

○＝病院が取得を希望する診療科の許可を全て取得済、準備中＝労基署への申請を目指して準備中、不要＝取得の必要がない

資料3

公立病院経営強化プランの策定について

R4.3.29 「公立病院経営強化の推進について（通知）」

「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」の概要

(令和4年3月29日付け総務省自治財政局長通知)

第1 公立病院経営強化の必要性

- 公立病院は、これまで再編・ネットワーク化、経営形態の見直しなどに取り組んできたが、医師・看護師等の不足、人口減少・少子高齢化に伴う医療需要の変化等により、依然として、**持続可能な経営を確保しきれない病院も多いのが実態。**
- また、コロナ対応に公立病院が中核的な役割を果たし、**感染症拡大時の対応における公立病院の果たす役割の重要性が改めて認識されるとともに、病院間の役割分担の明確化・最適化や医師・看護師等の確保などの取組を平時から進めておく必要性が浮き彫りとなった。**
- 今後、**医師の時間外労働規制への対応も迫られるなど、さらに厳しい状況が見込まれる。**
- 持続可能な地域医療提供体制を確保するため、**限られた医師・看護師等の医療資源を地域全体で最大限効率的に活用するという視点を最も重視し、新興感染症の感染拡大時等の対応という視点も持って、公立病院の経営を強化していくことが重要。**

第2 地方公共団体における公立病院経営強化プランの策定

- 策定時期 令和4年度又は令和5年度中に策定
- プランの期間 策定年度又はその次年度～令和9年度を標準
- プランの内容 **持続可能な地域医療提供体制を確保するため、地域の実情を踏まえつつ、必要な経営強化の取組を記載**

第3 都道府県の役割・責任の強化

- 都道府県が、市町村のプラン策定や公立病院の施設の新設・建替等にあたり、**地域医療構想との整合性等について積極的に助言。**
- 医療資源が比較的充実した都道府県立病院等が、**中小規模の公立病院等との連携・支援を強化していくことが重要。**

第4 経営強化プランの策定・点検・評価・公表

- 病院事業担当部局だけでなく、企画・財政担当部局や医療政策担当部局など関係部局が連携して策定。関係者と丁寧に意見交換するとともに、策定段階から議会、住民に適切に説明。
- 概ね年1回以上点検・評価を行い、その結果を公表するとともに、必要に応じ、プランを改定。

第5 財政措置

- **機能分化・連携強化に伴う施設整備等に係る病院事業債（特別分）や医師派遣に係る特別交付税措置を拡充。**

公立病院経営強化プランの内容

(1) 役割・機能の最適化と連携の強化

- ・ 地域医療構想等を踏まえた当該病院の果たすべき役割・機能
- ・ 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割・機能
- ・ **機能分化・連携強化**

各公立病院の役割・機能を明確化・最適化し、連携を強化。
特に、地域において中核的医療を行う基幹病院に急性期機能を集約して医師・看護師等を確保し、基幹病院以外の病院等は回復期機能・初期救急等を担うなど、双方の間の役割分担を明確化するとともに、**連携を強化することが重要。**

(2) 医師・看護師等の確保と働き方改革

- ・ 医師・看護師等の確保（特に、不採算地区病院等への医師派遣を強化）
- ・ 医師の働き方改革への対応

(3) 経営形態の見直し

(4) 新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組

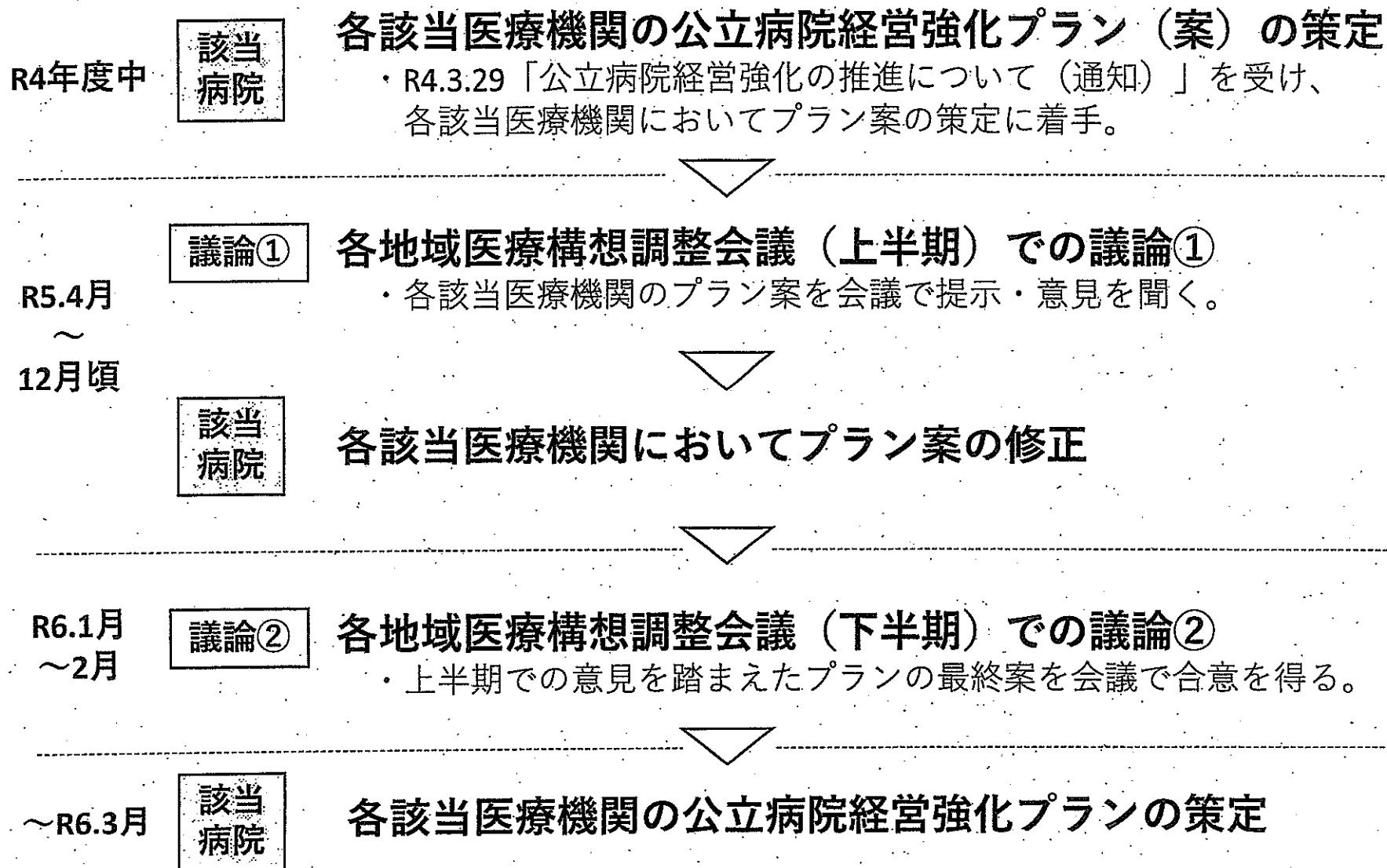
(5) 施設・設備の最適化

- ・ 施設・設備の適正管理と整備費の抑制
- ・ デジタル化への対応

(6) 経営の効率化等

- ・ 経営指標に係る数値目標

地域医療構想調整会議とプラン策定のスケジュールについて



(参考) 策定が必要な病院一覧

- 丹後 京丹後市立弥栄病院、京丹後市立久美浜病院
- 中丹 福知山市民病院、福知山市民病院大江分院、舞鶴市民病院、綾部市立病院
- 南丹 京都中部総合医療センター、亀岡市立病院、国保京丹波町病院
- 京都・乙訓 京都市立病院、京都市立京北病院
- 山城北 京都府立洛南病院
- 山城南 山城総合医療センター、精華町国保病院

令和5年度南丹地域医療構想調整会議の進め方について

地域医療構想調整会議			地域保健医療協議会		
(主な協議事項)			(主な協議事項)		
第1回	R5.7.27	<ul style="list-style-type: none"> ○紹介受診重点医療機関の公表にかかる議論 ○（医師の働き方改革）特例水準申請希望医療機関と地域医療体制との整合性の確認 ○地域医療提供体制データ分析事業の導入について 			
			第1回	R5.8月下旬 ～9月上旬	南丹地域保健医療計画 ・現計画の進捗状況と新計画の課題
第2回	R5.10月	○公立病院経営強化プラン策定対象病院からのプラン提示	第2回	R5.10月	南丹地域保健医療計画 ・新計画素案協議
			第3回	R5.11月	南丹地域保健医療計画 ・新計画最終案協議
第3回	R6.2月	<ul style="list-style-type: none"> ○（地域医療提供体制データ分析事業）分析結果に基づく地域課題の共有 ○公立病院経営強化プラン策定対象病院からのプラン最終案提示 			

亀岡市立病院 新中期計画（2021.4～2024.3）の進捗状況

進捗度にて未達成のもの

項目	年度	目標値	実績値					進捗度					病院 自己評価	
			Q1	Q2	Q3	Q4	計・平均	Q1	Q2	Q3	Q4	Year		
外来患者数（人） （ドック含まず） R03以降の目標値： シミュレーションより R03.4-ワクチン除く	H27	-	64,227						-					-
	H28	-	61,776						-					-
	H29	62,883	13,979	14,384	14,644	14,558	57,565	22%	23%	23%	23%	92%	-	
	H30	62,543	13,879	14,289	15,047	14,596	57,811	22%	23%	24%	23%	92%	-	
	R01	62,147	15,065	15,829	15,886	14,166	60,946	24%	25%	26%	23%	98%	-	
	R02	61,190	12,392	14,564	14,894	14,423	56,273	20%	24%	24%	24%	92%	-	
	R03	60,695	14,856	15,366	15,628	15,206	61,056	24%	25%	26%	25%	101%	-	
	R04	60,695	15,685	16,419	15,809	14,864	62,777	26%	27%	26%	24%	103%	-	
	R05	60,695											-	
初診患者数（人） （ドック含まず） R3以降の目標値： H29～R01の実績平均×1.03	H27	-	12,325						-					-
	H28	-	11,694						-					-
	H29	10,883	2,658	2,919	2,729	3,010	11,316	24%	27%	25%	28%	104%	A	
	H30	11,043	2,557	2,830	2,793	3,006	11,186	23%	26%	25%	27%	101%	A	
	R01	11,147	2,683	3,039	2,844	2,602	11,168	24%	27%	26%	23%	100%	A	
	R02	11,190	1,889	2,658	2,528	2,555	9,630	17%	24%	23%	23%	86%	B	
	R03	11,560	2,820	3,025	2,623	3,044	11,512	24%	26%	23%	26%	100%	A	
	R04	11,560	3,066	3,405	2,958	2,738	12,167	27%	29%	26%	24%	105%	A	
	R05	11,560											-	
1日あたり外来患者数（人） R03以降の目標値： 全数/244日	H27	-	264.5						-					-
	H28	-	254.2						-					-
	H29	257	225	232	240	247	235.9	88%	90%	93%	96%	92%	-	
	H30	255	224	234	243	252	237.9	88%	92%	95%	99%	93%	-	
	R01	254	255	255	260	244	253.9	101%	101%	103%	96%	100%	-	
	R02	250	203	239	244	240	231.6	81%	96%	98%	96%	93%	-	
	R03	248	244	252	256	258	252.3	98%	102%	103%	104%	102%	-	
	R04	248	257	265	263	248	258.3	104%	107%	106%	100%	104%	-	
	R05	248											-	
外来単価（円） R03以降の目標値： シミュレーション・診療科協議より （診療報酬上の積算値より計算しているため、事業会計の数値と異なる）	H27	-	9,606						-					-
	H28	-	10,100					(平均)	-					-
	H29	9,900	12,030	11,203	11,194	11,324	11,432	122%	113%	113%	114%	115%	A	
	H30	9,935	11,265	11,042	11,118	11,701	11,282	113%	111%	112%	118%	114%	A	
	R01	10,019	11,746	11,471	11,785	12,119	11,772	117%	114%	118%	121%	117%	A	
	R02	10,133	12,105	11,533	11,458	12,453	11,875	119%	114%	113%	123%	117%	A	
	R03	11,500	12,989	12,196	11,564	12,430	12,285	113%	106%	101%	108%	107%	A	
	R04	11,500	12,041	12,290	12,327	12,192	12,214	105%	107%	107%	106%	106%	A	
	R05	11,500											-	
救急搬送患者数（人） R03以降の目標値： H29～R01の実績平均	H27	-	511						-					-
	H28	-	672						-					-
	H29	546	157	165	149	183	654	29%	30%	27%	34%	120%	A	
	H30	588	172	212	161	167	712	29%	36%	27%	28%	121%	A	
	R01	630	170	193	173	163	699	27%	31%	27%	26%	111%	A	
	R02	672	117	170	165	148	600	17%	25%	25%	22%	89%	B	
	R03	688	136	143	159	120	558	20%	21%	23%	17%	81%	B	
	R04	688	199	226	184	174	783	29%	33%	27%	25%	114%	A	
	R05	688											-	
救急搬送応需率（%） R03以降の目標値： H29～R01の実績平均	H27	-	60.6						-					-
	H28	-	69.8					(平均)	-					-
	H29	65.0	69.5	69.0	72.0	62.6	67.8	107%	106%	111%	96%	104%	A	
	H30	70.0	76.1	71.4	60.8	54.6	65.1	109%	102%	87%	78%	93%	A	
	R01	75.0	62.3	62.0	55.1	55.2	58.5	83%	83%	73%	74%	78%	B	
	R02	80.0	54.4	51.9	58.9	48.4	53.2	68%	65%	74%	61%	67%	C	
	R03	63.8	48.1	44.9	52.1	35.9	44.9	75%	70%	82%	56%	70%	B	
	R04	63.8	56.2	45.3	44.7	38.2	45.5	88%	71%	70%	60%	71%	B	
	R05	63.8											-	
救急・時間外受入件数（件） R03以降の目標値： H29～R01の実績平均	H27	-	2,290						-					-
	H28	-	2,236						-					-
	H29	2,415	469	510	473	669	2,121	19%	21%	20%	28%	88%	B	
	H30	2,530	480	627	519	729	2,355	19%	25%	21%	29%	93%	A	
	R01	2,645	621	623	584	618	2,446	23%	24%	22%	23%	92%	A	
	R02	2,760	375	525	390	351	1,641	14%	19%	14%	13%	59%	C	
	R03	2,307	395	446	386	300	1,527	17%	19%	17%	13%	66%	C	
	R04	2,307	422	423	382	326	1,553	18%	18%	17%	14%	67%	C	
	R05	2,307											-	
入院患者数（人） （退院患者含む） R03以降の目標値： シミュレーションより	H27	-	23,530						-					-
	H28	-	26,269						-					-
	H29	27,422	7,353	7,176	7,238	7,293	29,060	27%	26%	26%	27%	106%	A	
	H30	31,437	6,331	7,395	7,583	7,683	28,992	20%	24%	24%	24%	92%	A	
	R01	32,167	7,365	7,760	7,280	6,863	29,268	23%	24%	23%	21%	91%	A	
	R02	32,970	6,270	6,789	6,534	6,344	25,937	19%	21%	20%	19%	79%	B	
	R03	31,706	6,532	6,679	6,309	5,982	25,502	21%	21%	20%	19%	80%	B	
	R04	31,706	6,164	6,155	6,466	6,231	25,016	19%	19%	20%	20%	79%	B	
	R05	31,706											-	

亀岡市立病院 新中期計画（2021.4～2024.3）の進捗状況

進捗度にて未達成のもの

項目	年度	目標値	実績値					進捗度					病院 自己評価	
			Q1	Q2	Q3	Q4	計・平均	Q1	Q2	Q3	Q4	Year		
1日あたり入院患者数（人） R03以降の目標値： 上記患者数÷365日	H27	-	64.3						-					-
	H28	-	72.0					(平均)	-					-
	H29	75	81	78	79	81	79.6	108%	104%	105%	108%	106%	A	
	H30	83	70	80	82	85	79.4	84%	97%	99%	103%	96%	A	
	R01	85	81	84	79	75	80.0	95%	99%	93%	89%	94%	A	
	R02	87	69	74	71	70	71.1	79%	85%	82%	81%	82%	B	
	R03	86.9	72	73	69	66	69.9	83%	84%	79%	76%	80%	B	
	R04	86.9	68	67	70	69	68.5	78%	77%	81%	80%	79%	B	
	R05	86.9												
	うち急性期（人） R03以降の目標値： 全体×0.8	H27	-	-						-				
H28		-	-					(平均)	-					-
H29		57	67	64	64	66	65.5	118%	113%	113%	116%	115%	A	
H30		65	58	64	68	70	65.0	88%	99%	105%	107%	100%	A	
R01		67	66	69	66	61	65.6	99%	103%	98%	92%	98%	A	
R02		68	56	60	58	59	58.4	82%	89%	86%	87%	86%	B	
R03		69.5	64	64	61	57	61.6	92%	92%	88%	82%	89%	B	
R04		69.5	60	59	61	60	59.9	86%	84%	88%	87%	86%	B	
うち地域包括ケア病床 （人） R03以降の目標値： 全体×0.2	H27	-	-						-					-
	H28	-	-					(平均)	-					-
	H29	18	13	14	15	15	14.2	74%	77%	81%	83%	79%	B	
	H30	18	12	16	14	16	14.4	67%	89%	78%	87%	80%	B	
	R01	18	15	15	13	14	14.4	82%	86%	74%	78%	80%	B	
	R02	19	13	14	13	11	12.7	70%	71%	67%	58%	67%	C	
	R03	17.4	8	8	7	9	8.2	46%	48%	42%	54%	47%	C	
	R04	17.4	8	8	9	9	8.6	44%	48%	53%	52%	50%	C	
R05	17.4													
H27.3～（一般：地域＝90：10）、H29.4～（一般：地域＝80：20）、R03.3～（一般：地域＝78：10、休床8、新型コロナナ4床）														
入院単価（円） R03以降の目標値： シミュレーション・診療科協議より （診療報酬上の積算値より計算しているため、事業会計の数値と異なる）	H27	-	37,415						-					-
	H28	-	35,229					(平均)	-					-
	H29	35,433	35,299	34,872	37,035	36,767	35,994	100%	98%	105%	104%	102%	A	
	H30	38,979	37,044	46,505	54,027	51,851	47,823	95%	119%	139%	133%	123%	A	
	R01	38,925	54,803	59,290	59,916	65,120	59,684	141%	152%	154%	167%	153%	A	
	R02	38,978	64,383	66,911	63,333	58,635	63,374	165%	172%	162%	150%	163%	A	
	R03	55,302	70,690	69,372	69,490	74,493	70,940	128%	125%	126%	135%	128%	A	
	R04	55,302	78,142	74,277	79,255	71,903	75,925	141%	134%	143%	130%	137%	A	
	R05	55,302												
新入院患者数（人） R03以降の目標値： H29-R01の実績平均×1.05	H27	-	1,528						-					-
	H28	-	1,788						-					-
	H29	1,724	435	402	414	434	1,685	25%	23%	24%	25%	98%	A	
	H30	1,918	361	406	388	410	1,565	19%	21%	20%	21%	82%	B	
	R01	1,951	398	451	440	470	1,759	20%	23%	23%	24%	90%	A	
	R02	2,000	360	424	424	420	1,628	18%	21%	21%	21%	81%	B	
	R03	1,753	398	406	374	389	1,567	23%	23%	21%	22%	89%	B	
	R04	1,753	425	432	417	379	1,653	24%	25%	24%	22%	94%	A	
	R05	1,753												
急性期病床平均在院日数（日） R03以降の目標値： 急性期病床の基準値	H27	-	-						-					-
	H28	-	-					(平均)	-					-
	H29	12.7以下	14.4	14.7	14.0	13.6	14.2	1.7日	2.0日	1.3日	0.9日	1.5日	-	
	H30	12.7以下	14.7	14.8	16.2	16.1	15.4	2日	2.1日	3.5日	3.4日	2.7日	-	
	R01	12.7以下	15.6	14.4	13.9	12.6	14.1	2.5日	1.7日	1.2日	-0.1日	1.3日	-	
	R02	12.0以下	15.0	13.3	12.2	13.6	13.5	3.0日	1.3日	0.2日	1.6日	1.5日	-	
	R03	21.0以下	15.2	15.4	14.8	14.8	15.1	-5.8日	-5.6日	-6.2日	-6.2日	-5.9日	-	
	R04	21.0以下	13.8	13.2	14.1	15.2	14.1	-7.2日	-7.8日	-6.9日	-5.8日	-6.9日	-	
	R05	21.0以下											-	
急性期病床 重症度、医療・看護必要度（%） ～2022.9 I（18%以上） 2022.10～ II（15%以上） R03以降の目標値：施設基準 R02.3より急性期一般入院料を 入院料6から4に類上げ	H27	-	-						-					-
	H28	-	-					(平均)	-					-
	H29	12以上	15.2	13.9	15.5	15.9	15.1	○	○	○	○	○	-	
	H30	15以上	21.6	19.9	20.8	23.2	21.4	○	○	○	○	○	-	
	R01	15以上	20.3	22.7	23.4	24.0	22.6	○	○	○	○	○	-	
	R02	18以上	35.2	35.0	34.9	33.0	34.5	○	○	○	○	○	-	
	R03	22以上	37.1	34.1	34.5	36.6	35.6	○	○	○	○	○	-	
	R04	15以上	31.7	30.2	33.0	30.0	31.2	○	○	○	○	○	-	
R05	15以上											-		
地域包括病床 重症度医療・看護必要度（%） ～2022.9 I（12%以上） 2022.10～ II（8%以上） R03以降の目標値：施設基準 地域包括ケア病棟入院医療管理料2算定中	H27	-	-						-					-
	H28	-	-					(平均)	-					-
	H29	10以上	24.9	15.2	18.5	21.6	20.0	○	○	○	○	○	-	
	H30	10以上	18.7	15.7	14.4	11.6	14.9	○	○	○	○	○	-	
	R01	10以上	16.4	16.5	13.6	17.5	16.0	○	○	○	○	○	-	
	R02	14以上	14.6	15.5	12.5	18.2	15.1	○	○	×	○	○	-	
	R03	14以上	22.1	33.2	16.3	27.0	24.6	○	○	○	○	○	-	
	R04	8以上	25.3	16.2	16.2	18.2	19.0	○	○	○	○	○	-	
R05	8以上											-		

亀岡市立病院 新中期計画（2021.4～2024.3）の進捗状況

進捗度にて未達成のもの

項目	年度	目標値	実績値				計・平均	進捗度					病院 自己評価
			Q1	Q2	Q3	Q4		Q1	Q2	Q3	Q4	Year	
紹介件数 診察（件） R03以降の目標値： H29～R01の実績平均	H27	-	-				1,259	-					-
	H28	-	-				1,383	-					-
	H29		321	334	337	327	1,319						-
	H30		357	420	423	361	1,561						-
	R01		377	424	413	395	1,609						-
	R02		329	388	426	384	1,527						-
	R03	1,496	426	412	426	373	1,637	28%	28%	28%	25%	109%	A
	R04	1,496	507	466	422	413	1,808	34%	31%	28%	28%	121%	A
R05	1,496												
紹介件数 検査（件） R03以降の目標値： H29～R01の実績平均	H27	-	-				666	-					-
	H28	-	-				833	-					-
	H29		295	335	333	270	1,233						-
	H30		340	297	333	288	1,258						-
	R01		301	296	312	261	1,170						-
	R02		180	256	258	306	1,000						-
	R03	1,220	293	254	275	258	1,080	24%	21%	23%	21%	89%	B
	R04	1,220	289	233	256	258	1,036	24%	19%	21%	21%	85%	B
R05	1,220												
紹介件数 入院（件） R03以降の目標値： H29～R01の実績平均	H27	-	-				197	-					-
	H28	-	-				260	-					-
	H29		64	47	55	47	213						-
	H30		59	46	54	45	204						-
	R01		64	47	55	47	213						-
	R02		40	46	50	45	181						-
	R03	239	43	54	34	55	186	18%	23%	14%	23%	78%	B
	R04	239	56	61	56	52	225	23%	26%	23%	22%	94%	A
R05	239												
紹介件数 地域包括病床へ直接入院した数 （件） R03以降の目標値： H29-R01の実績平均+α	H27	-	-					-					-
	H28	-	-					-					-
	H29		5	0	3	0	8	5	0	1	0		-
	H30		1	3	3	1	8	1	4	3	1		-
	R01		1	0	3	4	8	1	0	3	2		-
	R02	280	4	1	3	4	12	4	1	3	5		-
	R03	10	4	20	4	25	53	40%	200%	40%	250%	530%	A
	R04	10	21	21	20	16	78	210%	210%	200%	160%	780%	A
R05	10												
紹介率（％）	H27	-	20.6					-					-
	H28	-	25.5				(平均)	-					-
	H29	25	30.2	30.0	31.8	27.1	29.7	121%	120%	127%	108%	119%	A
	H30	26	34.5	32.6	33.4	27.2	31.8	133%	125%	128%	105%	122%	A
	R01	28	31.7	29.8	32.0	31.0	31.1	113%	106%	114%	111%	111%	A
	R02	30	33.6	29.5	33.6	32.8	32.2	112%	98%	112%	109%	107%	A
	R03	30.5	30.9	29.6	33.1	24.2	29.2	101%	97%	109%	79%	96%	A
	R04	31.0	30.8	25.6	28.5	27.1	27.9	99%	83%	92%	87%	90%	A
R05	31.5												
逆紹介率（％）	H27	-	35.0					-					-
	H28	-	44.4				(平均)	-					-
	H29	32	50.2	48.9	55.2	54.0	52.1	157%	153%	173%	169%	163%	A
	H30	32	58.1	48.6	49.8	46.0	50.4	182%	152%	156%	144%	158%	A
	R01	34	50.8	47.6	47.0	50.0	48.8	149%	140%	138%	147%	144%	A
	R02	35	42.3	47.2	52.5	56.0	50.1	121%	135%	150%	160%	143%	A
	R03	50.0	56.6	43.9	52.5	43.9	42.6	113%	88%	105%	88%	85%	B
	R04	50.5	45.3	40.4	38.0	36.8	35.3	90%	80%	75%	73%	70%	C
R05	51.0												
在宅復帰率（％） （地域包括ケア病床） R03以降の目標値：施設基準+α 70%以上⇒R04～72.5%	H27	-	-					-					-
	H28	-	91.3				(平均)	-					-
	H29	75	91.4	85.4	92.1	95.8	91.0	122%	114%	123%	128%	121%	A
	H30	75	94.6	94.2	96.4	90.2	94.3	126%	126%	129%	120%	126%	A
	R01	75	93.8	93.4	95.1	95.8	94.6	125%	125%	127%	128%	126%	A
	R02	75	91.8	89.8	86.0	92.5	90.4	122%	120%	115%	123%	121%	A
	R03	75	74.4	93.3	90.3	89.4	87.0	99%	124%	120%	119%	116%	A
	R04	75	93.9	91.6	80.7	80.1	86.6	125%	122%	108%	107%	115%	A
R05	75												
後発薬使用割合（％） （期間最終月値を使用） R03以降の目標値： 後発医薬品使用体制加算1 R04年度～加算2	H27	-	-					-					-
	H28	-	-					-					-
	H29	70.0	74.6	80.0	87.2	81.6	81.6	107%	114%	125%	117%	117%	A
	H30	80.0	87.6	81.7	87.2	81.4	81.4	110%	102%	109%	102%	102%	A
	R01	80.0	91.8	89.0	88.1	80.4	80.4	115%	111%	110%	101%	101%	A
	R02	80.0	92.2	88.7	91.6	91.7	91.7	115%	111%	114%	115%	115%	A
	R03	85.0	85.5	87.5	85.2	85.5	85.5	101%	103%	100%	101%	101%	A
	R04	85.0	89.6	87.3	82.8	83.6	87.0	105%	103%	97%	98%	102%	A
R05	85.0												

亀岡市立病院 新中期計画（2021.4～2024.3）の進捗状況

進捗度にて未達成のもの

項目	年度	目標値	実績値					進捗度					病院 自己評価
			Q1	Q2	Q3	Q4	計・平均	Q1	Q2	Q3	Q4	Year	
入院患者満足度（%） とても良い/良いの割合 R03以降の目標値： 日本病院会QIプロジェクト 2019年参加施設平均	H27	-	90.6					-					-
	H28	-	85.9				(平均)	-					-
	H29		91.0	95.4	83.8	86.7	89.8	91.0	95.4	83.8	86.7		-
	H30		87.4	91.7	86.6	88.3	88.5	87.4	91.7	86.6	88.3		-
	R01		85.0	88.7	87.9	88.6	87.7	85.0	88.7	87.9	88.6		-
	R02		95.2	91.5	90.2	88.8	91.5	95.2	91.5	90.2	88.8		-
	R03	89.9	93.5	90.7	92.2	90.4	91.6	104%	101%	103%	101%	102%	A
	R04	89.9	92.7	90.1	88.3	85.9	89.9	103%	100%	98%	96%	100%	A
R05	89.9												
医療安全1 (R3年度より項目変更) 入院患者の転倒・転落発生率(‰) R03以降の目標値： 日本病院会QIプロジェクト 2019年参加施設平均	H27	-					(平均)	-					-
	H28	-						-					-
	H29												-
	H30												-
	R01												-
	R02												-
	R03	2.7	4.6	3.9	3.5	3.4	3.8	1.9	1.2	0.8	0.7	1.1	
	R04	2.7	2.3	4.8	5.0	3.8	4.0	-0.4	2.1	2.3	1.1	1.3	
R05	2.7												
医療安全2 (R3年度より項目変更) 65歳以上の入院患者における転 倒・転落発生率(‰) R03以降の目標値： 日本病院会QIプロジェクト 2019年参加施設平均	H27	-					(平均)	-					-
	H28	-						-					-
	H29												-
	H30												-
	R01												-
	R02												-
	R03	3.1	4.9	4.6	3.8	2.5	4.0	1.8	1.5	0.7	-0.6	0.9	
	R04	3.1	2.5	5.4	5.7	4.1	4.4	-0.6	2.3	2.6	1.0	1.3	
R05	3.1												
全手術件数（件） R03以降の目標値： H29～R01の実績平均	H27	-	947					-					-
	H28	-	955					-					-
	H29	1,019	260	205	245	227	937	26%	20%	24%	22%	92%	A
	H30	1,067	135	182	208	239	764	13%	17%	19%	22%	72%	B
	R01	1,116	253	247	274	275	1,049	23%	22%	25%	25%	94%	A
	R02	1,164	240	270	254	249	1,013	21%	23%	22%	21%	87%	B
	R03	917	282	298	296	276	1,152	31%	32%	32%	30%	126%	A
	R04	917	295	278	292	259	1,124	32%	30%	32%	28%	123%	A
R05	917												
手術件数（外科件数）	H27	-	215					-					-
	H28	-	233					-					-
	H29		58	50	51	52	211	58	50	51	52		-
	H30		46	43	37	57	183	46	43	37	57		-
	R01		56	58	64	54	232	56	58	64	54		-
	R02		42	49	52	48	191	42	49	52	48		-
	R03		58	55	49	42	204	58	55	49	42		-
	R04		58	55	31	35	179	58	55	31	35		-
R05												-	
手術件数（整形外科件数）	H27	-	316					-					-
	H28	-	239					-					-
	H29		56	49	62	66	233	56	49	62	66		-
	H30		55	110	127	134	426	55	110	127	134		-
	R01		147	144	150	157	598	147	144	150	157		-
	R02		149	167	140	138	594	149	167	140	138		-
	R03		162	165	164	168	659	162	165	164	168		-
	R04		157	145	171	155	628	157	145	171	155		-
R05												-	
手術件数（眼科件数）	H27	-	380					-					-
	H28	-	476					-					-
	H29		146	106	132	109	493	146	106	132	109		-
	H30		34	29	44	47	154	34	29	44	47		-
	R01		50	45	60	64	219	50	45	60	64		-
	R02		49	54	62	63	228	49	54	62	63		-
	R03		62	78	83	66	289	62	78	83	66		-
	R04		80	78	88	69	315	80	78	88	69		-
R05												-	
市民健康講座など開催数（回） R03以降の目標値： 前年と同じ(Web含む)	H27	-	2					-					-
	H28	-	3					-					-
	H29	3	2	2	3	2	9	67%	67%	100%	67%	300%	A
	H30	4	1	3	3	2	9	25%	75%	75%	50%	225%	A
	R01	4	2	3	4	0	9	50%	75%	100%	0%	225%	A
	R02	4	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	C
	R03	4	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	C
	R04	4	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	C
R05	4												

亀岡市立病院 新中期計画（2021.4～2024.3）の進捗状況

進捗度にて未達成のもの

項目	年度	目標値	実績値					進捗度					病院 自己評価
			Q1	Q2	Q3	Q4	計・平均	Q1	Q2	Q3	Q4	Year	
内科（人） R03以降の目標値： シミュレーションより R03.4-ワクチン除く	H27	-	8,198					-					-
	H28	-	8,107					-					-
	H29	7,925	1,949	1,923	2,319	2,599	8,790	25%	24%	29%	33%	111%	-
	H30	7,925	1,905	1,952	2,224	2,404	8,485	24%	25%	28%	30%	107%	-
	R01	7,925	1,952	2,022	2,194	2,138	8,306	25%	26%	28%	27%	105%	-
	R02	7,925	1,586	2,056	2,204	2,051	7,897	20%	26%	28%	26%	100%	-
	R03	8,780	2,076	2,253	2,296	2,587	9,212	24%	26%	26%	29%	105%	A
	R04	8,780	2,475	2,820	2,890	2,402	10,587	28%	32%	33%	27%	121%	A
	R05	8,780											
消化器内科（人） R03以降の目標値： シミュレーションより	H27	-	8,276					-					-
	H28	-	7,128					-					-
	H29	7,536	1,786	1,699	1,654	1,641	6,780	24%	23%	22%	22%	90%	-
	H30	7,536	1,692	1,597	1,669	1,688	6,646	22%	21%	22%	22%	88%	-
	R01	7,536	1,681	1,553	1,645	1,495	6,374	22%	21%	22%	20%	85%	-
	R02	7,536	1,246	1,475	1,547	1,630	5,898	17%	20%	21%	22%	78%	-
	R03	6,800	1,559	1,527	1,543	1,558	6,187	23%	22%	23%	23%	91%	A
	R04	6,800	1,513	1,485	1,480	1,545	6,023	22%	22%	22%	23%	89%	B
	R05	6,800											
循環器内科（人） R03以降の目標値： シミュレーションより	H27	-	5,407					-					-
	H28	-	5,632					-					-
	H29	5,963	1,305	1,322	1,378	1,283	5,288	22%	22%	23%	22%	89%	-
	H30	5,963	1,321	1,269	1,432	1,315	5,337	22%	21%	24%	22%	90%	-
	R01	5,963	1,361	1,350	1,407	1,348	5,466	23%	23%	24%	23%	92%	-
	R02	5,963	1,202	1,201	1,354	1,318	5,075	20%	20%	23%	22%	85%	-
	R03	5,520	1,370	1,307	1,331	1,208	5,216	25%	24%	24%	22%	94%	A
	R04	5,520	1,376	1,362	1,371	1,343	5,452	25%	25%	25%	24%	99%	A
	R05	5,520											
小児科（人） R03以降の目標値： シミュレーションより	H27	-	3,652					-					-
	H28	-	3,099					-					-
	H29	3,226	556	703	766	835	2,860	17%	22%	24%	26%	89%	-
	H30	3,226	426	445	507	466	1,844	13%	14%	16%	14%	57%	-
	R01	3,226	343	496	559	332	1,730	11%	15%	17%	10%	54%	-
	R02	3,226	160	224	321	208	913	5%	7%	10%	6%	28%	-
	R03	2,210	249	311	262	345	1,167	11%	14%	12%	16%	53%	C
	R04	2,210	211	464	318	293	1,286	10%	21%	14%	13%	58%	C
	R05	2,210											
外科（人） R03以降の目標値： シミュレーションより	H27	-	7,771					-					-
	H28	-	7,380					-					-
	H29	8,049	1,595	1,894	1,772	1,531	6,792	20%	24%	22%	19%	84%	-
	H30	8,049	1,591	1,910	1,943	1,457	6,901	20%	24%	24%	18%	86%	-
	R01	8,049	1,800	2,166	1,933	1,534	7,433	22%	27%	24%	19%	92%	-
	R02	8,049	1,529	2,012	1,907	1,597	7,045	19%	25%	24%	20%	88%	-
	R03	7,250	1,800	2,007	1,903	1,623	7,333	25%	28%	26%	22%	101%	A
	R04	7,250	1,878	2,221	1,854	1,496	7,449	26%	31%	26%	21%	103%	A
	R05	7,250											
整形外科（人） R03以降の目標値： シミュレーションより	H27	-	17,792					-					-
	H28	-	16,078					-					-
	H29	19,163	3,052	2,974	2,957	2,944	11,927	16%	16%	15%	15%	62%	-
	H30	19,163	3,462	3,661	3,666	3,573	14,362	18%	19%	19%	19%	75%	-
	R01	19,163	4,100	4,235	4,162	3,691	16,188	21%	22%	22%	19%	84%	-
	R02	19,163	3,292	3,949	3,768	3,894	14,903	17%	21%	20%	20%	78%	-
	R03	15,275	4,018	3,853	3,969	3,918	15,758	26%	25%	26%	26%	103%	A
	R04	15,275	4,176	3,977	3,884	3,850	15,887	27%	26%	25%	25%	104%	A
	R05	15,275											
麻酔科（人） R03以降の目標値： シミュレーションより	H27	-	1,341					-					-
	H28	-	1,224					-					-
	H29	1,408	298	385	373	317	1,373	21%	27%	26%	23%	98%	-
	H30	1,408	358	289	320	293	1,260	25%	21%	23%	21%	89%	-
	R01	1,408	337	341	312	278	1,268	24%	24%	22%	20%	90%	-
	R02	1,408	326	310	344	310	1,290	23%	22%	24%	22%	92%	-
	R03	1,340	319	388	476	301	1,484	24%	29%	36%	22%	111%	A
	R04	1,340	413	417	437	407	1,674	31%	31%	33%	30%	125%	A
	R05	1,340											
糖尿病内科（人） R03以降の目標値： シミュレーションより	H27	-	2,537					-					-
	H28	-	4,162					-					-
	H29	4,293	1,032	1,119	1,071	1,141	4,363	24%	26%	25%	27%	102%	-
	H30	4,293	1,262	1,284	1,320	1,428	5,294	29%	30%	31%	33%	123%	-
	R01	4,293	1,499	1,519	1,544	1,489	6,051	35%	35%	36%	35%	141%	-
	R02	4,293	1,291	1,386	1,462	1,496	5,635	30%	32%	34%	35%	131%	-
	R03	5,390	1,514	1,510	1,571	1,538	6,133	28%	28%	29%	29%	114%	A
	R04	5,390	1,475	1,472	1,475	1,526	5,948	27%	27%	27%	28%	110%	A
	R05	5,390											

診療科別外来患者数
(神経内科・皮膚科・泌尿器科・眼科を除く)
(目標値：H28年度の5%増)

亀岡市立病院 新中期計画（2021.4～2024.3）の進捗状況

進捗度にて未達成のもの

項目	年度	目標値	実績値					進捗度					病院 自己評価			
			Q1	Q2	Q3	Q4	計・平均	Q1	Q2	Q3	Q4	Year				
診療科別入院患者数 (退院患者含む)	内科系（人）		H27	10,437					-					-		
			H28	13,737					-					-		
	(一般内科、消化器内科、循環器内科、糖尿病内科の計であり、小児科・眼科・泌尿器・皮膚科・神経内科は除く)		H29	14,354	4,348	4,148	3,634	3,641	15,771	30%	29%	25%	25%	110%	A	
			H30	16,514	3,149	3,130	2,975	2,988	12,242	19%	19%	18%	18%	74%	B	
			R01	16,895	2,987	2,431	2,598	2,344	10,360	18%	14%	15%	14%	61%	C	
			R02	17,319	1,889	2,270	2,497	2,412	9,068	11%	13%	14%	14%	52%	C	
			R03	13,430	2,149	1,829	1,797	1,858	7,633	16%	14%	13%	14%	57%	C	
			R04	13,430	2,021	2,433	2,137	2,349	8,940	15%	18%	16%	17%	67%	C	
			R05	13,430												
			R03以降の目標値： シミュレーションより		H27	4,641					-					-
					H28	4,776					-					-
					H29	5,886	1,140	1,112	1,165	868	4,285	19%	19%	20%	15%	73%
	H30	6,658			958	1,102	770	804	3,634	14%	17%	12%	12%	55%	C	
	R01	6,814			718	952	1,069	823	3,562	11%	14%	16%	12%	52%	C	
	R03以降の目標値： シミュレーションより		R02	6,983	785	803	662	582	2,832	11%	11%	9%	8%	41%	C	
			R03	4,020	715	997	783	559	3,054	18%	25%	19%	14%	76%	B	
			R04	4,020	794	891	808	673	3,166	20%	22%	20%	17%	79%	B	
			R05	4,020												
			整形外科（人）		H27	7,943					-					-
	H28	7,273					-					-				
	H29	7,182			1,713	1,810	2,313	2,668	8,504	24%	25%	32%	37%	118%	A	
	H30	8,265			2,199	3,133	3,798	3,834	12,964	27%	38%	46%	46%	157%	A	
	R01	8,458			3,615	4,350	3,556	3,635	15,156	43%	51%	42%	43%	179%	A	
	R02	8,668			3,557	3,662	3,327	3,307	13,853	41%	42%	38%	38%	160%	A	
	R03	14,058			3,634	3,788	3,681	3,525	14,628	26%	27%	26%	25%	104%	A	
R04	14,058	3,291			2,771	3,455	3,150	12,667	23%	20%	25%	22%	90%	A		
R05	14,058															

各部門個別管理項目については、別管理としています。（看護部/薬剤科/放射線技術科/臨床検査科/リハビリテーション科/栄養科/事務系）

以下の数値は進捗管理をする為、診療報酬上の理論値（返戻・減点・未収金を考慮しない数値）をもとに計算した。

医業収益 (但し、 その他医 業収益は 含まない)	入外収益（百万円）		H29	1,591	433	417	436	439	1,726	27%	26%	27%	28%	108%	A
			H30	1,802	396	508	581	576	2,061	22%	28%	32%	32%	114%	A
			R01	1,830	588	649	630	624	2,490	32%	35%	34%	34%	136%	A
			R02	1,858	559	630	590	556	2,334	30%	34%	32%	30%	126%	A
			R03	2,451	656	655	624	642	2,577	27%	27%	25%	26%	105%	A
			R04	2,451	671	659	707	629	2,666	27%	27%	29%	26%	109%	A
			R05	2,451											
	入院収益（百万円）		H29	972	264	255	272	274	1,065	27%	26%	28%	28%	110%	A
			H30	1,181	240	350	414	405	1,408	20%	30%	35%	34%	119%	A
			R01	1,208	410	467	442	452	1,772	34%	39%	37%	37%	147%	A
			R02	1,238	409	462	419	376	1,666	33%	37%	34%	30%	135%	A
			R03	1,753	467	468	444	453	1,831	27%	27%	25%	26%	104%	A
			R04	1,753	482	457	512	448	1,899	27%	26%	29%	26%	108%	A
			R05	1,753											
	外来収益（百万円）		H29	619	169	162	165	165	661	27%	26%	27%	27%	107%	A
			H30	621	157	158	167	171	653	25%	25%	27%	27%	105%	A
			R01	623	177	182	187	172	719	28%	29%	30%	28%	115%	A
			R02	620	150	168	171	180	668	24%	27%	28%	29%	108%	A
			R03	698	189	187	181	189	746	27%	27%	26%	27%	107%	A
			R04	698	189	202	195	181	767	27%	29%	28%	26%	110%	A
			R05	698											

【評価基準】

この表の評価基準は以下の通り。

年度毎に目標値を増加させる指標 A=90%以上 B=70～89% C=69%以下

【評価外項目】（除外理由）

- 外来患者数及び1日外来患者数 地域医療構想推進における患者数適正化のため（かかりつけ医の推進）
- 急性期病床平均在院日数（日） 平均在院日数は、急性期一般病床の施設基準値を用いた
- 重症度、医療・看護必要度（%）I 急性期、地域包括ケア病床の各目標値は、施設基準値を用いた
- 医療安全 I・II 日本病院協会が実施する医療の質を表す指標（QIプロジェクト）の平均値を目標としているが、この指標は大病院の参加が多く高度急性期を含む平均値となっているため、評価はしていない
- 各科手術件数 全体の件数を評価目標としており、科別件数は社会環境の変化（新型コロナや医師数等）により変化するために未設定

2023年8月7日

経営企画室

病院の方向性について ～新中期計画・病院事業会計要約～

新中期計画の実績、病院事業会計の要約は下記のとおりです。

実績値、実績の要約等の資料をご参考に病院の方向性について、ご意見をいただければと考えます。

【実績の要約】

○外来患者数、1日平均外来患者数は、R03年度（2021年度）に比べ1,721人増加し、1日平均患者数は258.3人となりました。この増加にコロナワクチン接種者数は含みませんが発熱外来受診者は含んでいるため、その来院者による増加も影響していると考えられます。患者1人当たりの診療単価は前年同等の12,000円台です。

○救急車搬入件数は前年比+225人で1日当たり0.6人の増加（目標達成率114%）ですが、救急応需率は45.5%と低下しています。時間外受入件数は前年比同等です（目標達成率67%）。

○入院患者数は前年・前々年に比べ年々減少し、年間病床稼働率（退院患者含む）は68.5%です。新型コロナ陽性患者の受入病床を確保するため、実用病床が減少し、それがベッドコントロールに影響していると考えられます。患者一人当たりの入院単価は手術件数の増加、その他患者の減少から結果的に高くなっています。また、一定数の手術対象患者により重症度、医療・看護必要度も基準をクリアしている状況です。

○紹介患者は、診察、入院で増加（発熱外来、コントロールセンター紹介入院を含む）、検査は減少しています。全体的な紹介率は27.9%（R03:29.2、R01:32.2）で年々減少。逆紹介率35.3%（R03:42.6、R01:50.1）と同様に減少しています。他院との連携強化が必要です。（注意！紹介率・逆紹介率ともに分母に初診患者数が入るので、発熱外来など初診患者数が増加すれば率は減少します。）

○医療の質（医療安全）では、日本病院会が実施するQI指標の平均を目標（プロジェクト参加病院は、大規模総合病院が多い）に比べ当院は入院患者の平均年齢が高く、転倒・転落件数の発生率が高く推移しています。また、高齢化による認知症も要因の一つです。

死亡退院率は平均して5%以下であり増減はありません。

入院患者満足度は、大きく変化はみられませんが、施設の経年劣化に対する不満も見られるようになってきています。

○手術件数は前年より28件減少していますがR01年度から年1,000件以上を維持しています。診療科割合では、整形外科：外科：眼科=5.6：1.6：2.8です。

○医薬・材料の管理では、1月まで後発医薬品使用割合85%以上で管理されています。

○人事管理強化では、コロナの影響もあり一部の職種において超勤時間が月一人当たり平均30時間を超えている部署があります。コロナも要因の一つですが経年的に30時間を超える部署は働き方改革など再検討する必要があります。

○診療科別の成績については、資料をご覧ください。

【病院事業会計】

○脊椎医師着任前の平成26年度～29年度と着任後の令和1年度～4年度の4年間を比較しました。

・着任前の医業収益は17.57億円、医業外収益は3.83億円、病院事業収益は21.4億円となり、着任後の医業収益は26.87億円、医業外収益は4.98億円、特別利益0.16億円、病院事業収益は31.98億円となっています。

・着任前の医業費用は22.22億円、医業外費用は1.17億円、特別損失は0.69億円、病院事業費用は24.1億円となり、着任後の医業費用は28.9億円、医業外費用は1.7億円、特別損失は0.29億円、病院事業費用は30.9億円となっています。

・繰入金は、着任前が5.06億円、着任後は5.71億円。

・収益増加により、医業収支比率、経常収支比率、人件費率等は軒並み上昇しています。

診療材料比率が、整形外科インプラントのため上昇しています(材料費用が多くかかっています。)

・病床稼働率は、着任前が70.7%、着任後は72.4%。

・外来患者数は、着任前が62,562人、着任後は60,263人。

・入院患者数は、着任前が25,817人、着任後は26,431人。

・外来診療単価は、着任前が10,087円、着任後は11,839円。

・入院診療単価は、着任前が36,019円、着任後は65,090円。

【補足】

今年度は新中期計画(R3～R5)の最終年度になり、来年度からは新たな経営強化プランに移行します。プラン名にあるように最終年度(令和9年度)までに黒字を達成する計画とし、それが出来ない場合は理由を記載するように指示されています。また、来年度には「医師の働き方改革」による勤務時間制限や「診療報酬・介護報酬の同時改定」もあります。

新型コロナウイルス感染症では感染症分類5類相当に引き下げとなり、病床に対する補助金もなくなります。

病院のあり方や方向性を見直しつつ、医業収支(補助金など含まない)の出来るだけ均衡が図れるように計画を立案し、持続できる病院運営に努める必要があります。

令和4年度

亀岡市立病院 新中期計画 評価報告書

令和5年7月

亀岡市立病院経営審議会

1 はじめに

亀岡市立病院経営審議会(以下、「審議会」という。)は、亀岡市立病院(以下「市立病院」という。)における医療の質の向上と健全な経営を図ることを目的として、医療関係者、学識経験者、行政関係者、自治会関係者からなる外部委員で構成された審議会である。

本報告書は、「亀岡市立病院新中期計画(2021年4月～2024年3月までの3ヶ年計画)」2年目(令和4年度)の評価である。

2 新改革プランに対する点検及び評価結果

(1) 審議会としての具体的な評価方法

「亀岡市立病院新中期計画」の進捗状況報告(令和5年6月27日(火)令和5年度第1回亀岡市立病院経営審議会)」に示された実績、自己評価等について病院から項目毎の説明を受け、その内容を審議した。評価は、下記の基準で求め、特に委員から提言された意見を付した。

【評価基準】 評価は、「A、A(-)、B、B(-)、C」の5段階とし、その内容は以下の通りとする。

- A: プラン目標を概ね達成できている。
- B: プラン目標に対して概ね達成したが、項目によっては取り組み内容の再検討が必要である。
- C: プラン目標に対して、多くの項目が目標を達成することが出来ず、大幅な取り組み内容の修正や方向性の検討が必要である。

(2) 審議会評価【総評】

令和4年度は長期化する新型コロナウイルス感染症の影響により多くの医療機関で入院患者数の減少、病床稼働率の低下が見られる中、市立病院も同様に入院患者の減少や病床稼働率の低下が見られ目標を下回る実績となっている。入院患者の診療科割合では内科系患者数に課題がある。また、逆紹介率、救急搬送応需率、市民健康講座の開催等も目標を下回っている状況である。

一方で、外来患者数は前年に比べ増加し、初診患者数の増加、救急搬送患者数の増加、救急・時間外受入件数の増加が見らる。

経営面では、感染拡大防止に努めながら計画的に整形外科手術を進め、新規入院患者の受入れ、質の高い医療を提供することで入院診療単価は上昇し、目標より高く維持できている。最終的には京都府から多額のコロナ補助金があったものの、収支は5年連続の黒字を達成している状況である。

今後、更なる地域医療連携の推進に努め、地域医療構想の実現に向けて市立病院の役割や機能分担を明確にすることで、紹介・逆紹介の適正化に努めると共に、救急応需、病床の有効利用・稼働率の改善に向けた取組を望むところである。

以上のことから審議会総評として以下のとおり判断した。

A(-)

【意見等】

新中期計画の進捗状況を見ると、計画の進捗状況は良いので、総合的に見れば高く評価できる。次のような改善点があるためA(-)とした。中期計画の基本的な考えの一つとして「地域医療機関と連携し、…」とある。紹介率と逆紹介率が前年に比べて減少していると同時に、新中期計画の目標値を下回っており、この基本的な考えを満たすためには一層の連携が必要と思われる。市民健康講座は令和4年には一度も行われていない。対面にこだわらずリモートによる方法なども含め実施に向けて検討すべきと思われる。救急搬送患者数は前年度に比べ増大し、目標値を上回っている点は評価できる。しかし、応需率は目標値を下まわっており、改善すべきものとする。病院事業収支において、コロナ関連補助金と本来の病院業務の貢献が明らかにされていないため、新中期計画の評価を十分に行なえる状況にないため、今後はそれぞれの貢献を明らかにすべきものと思われる。

地域密着型の病院として、市民に評価される病院になれば良いと思います。厚生省のビジョンでは無いかもしれませんが。

令和4年度の亀岡市立病院における新中期計画に対する評価についてA(-)評価とする。新型コロナウイルス感染症が落ち着きを示し、外来患者数、初診患者数、手術件数、救急搬送患者数その他の幾つかの項目で前年を上回った。一方で、救急応受率、時間外受け入れ件数その他は減少したままであり、今後の対応が必要と考えられる。また入院患者数については整形外科、外科は回復傾向をおもわせ、更に入院単価も素晴らしい増加をしているが、一方で内科系入院患者数については回復が遅れており、この領域での取り組み内容の再検討を要すると考えられる。また、地域包括病床の運用のやり方の工夫を必要とする。

市内唯一の公立病院としてコロナ患者の入院受入、発熱外来、PCR検査等の実施、市民へのワクチン接種などのコロナ対応について、安全安心の市民生活に大きく寄与したものと考えます。

新中期計画との比較においては、外来関係では患者数、初診患者数、一人当たりの診療単価、救急搬送患者数も目標値をクリア出来ましたが、今後は、市民満足度向上の観点から、救急搬送応需率のアップが必要と考えます。

入院関係では患者数については、一定数の病床をコロナ病床に割いたため、目標値をクリア出来なかったことは、やむを得ないものと考えます。しかし、全手術件数はコロナ禍の中でも、目標値を上回る件数をこなし、また、入院単価においても高度な脊椎手術の実施により、目標値を大幅に上回る入院単価を確保したことが入院収益のアップにつながったものと考えます。

最終的に多額のコロナ関連の府補助金の交付があったものの、5年連続で黒字を確保出来たことは、高く評価出来るものと考えます。以上の点から、各項目とも概ね進捗状況は良好であることから、新中期計画に対する評価については、A(-)とします。

なお、今後コロナ病床を解除後、どれだけ病床利用率を上げられるかが課題と考えます。

コロナ禍により様々な影響を受け、外来患者の減少やコロナ対応のための病床確保などの課題を乗り越えて、現段階ではコロナ禍前の利用患者数に戻りつつあり、収益についても回復しつつある。

今回の会議で貴院の収支状況を伺うと、5年連続で黒字を続けているなど、大変良好な成績であった。亀岡市からの補助金、および新型コロナウイルス病床に関連する補助金を受けているとはいえ、素晴らしいことと評価できる。特に整形外科の頑張りは素晴らしく、病院全体をけん引している様子である。貴院が私立の病院であれば、間違いなくA評価と思う。

一方で病院の自己評価では、救急輸送応需率、救急・時間外受入件数、逆紹介率、入院患者の転倒・転落発生率、小児科の外来患者数、内科系の入院患者数などが、目標値を下回っていた。医師数が少なく、当直医師の専門外の患者は断らざるを得ないなどの事情は理解できる。それでも市立病院である以上、どうしても市民の期待は高いと思われる。このような、少し残念な面も加えて評価すると、A(-)との評価とせざるを得ないとする。

令和4年度はまだCOVID-19の影響を強く受け多くの医療機関で入院患者数や稼働率の低下がみられた。亀岡市立病院がコロナ下で新入院患者数が増加したことは特筆すべきことであり、延入院患者数や稼働率の低下がみられたが比較的わずかにとどまった。また救急車搬入患者数や外来受診患者数は増加し地域への貢献は一定果たしているものと考えられる。

現状は整形外科部門が急性期医療を充実させていることが収益に貢献し病院全体をけん引しており黒字化戦略としては妥当と考えられるが管理者からも訴えられているように100床という病床数で急性期病床・地域包括ケア病床・回復期病床をどの割合で効率よく運用するかは難しい事項である。また京都中部総合医療センターとの連携・役割分担についての踏み込んだ地域の話合いなどが必要と考えられる。また京都市内に20分以内に搬送可能な環境も十分に考慮されるべきものである。ただこれらの課題は1病院だけでは解決が困難であり地域医療構想調整会議などで議論・協議が必要と考えられる。

今回は審議会に参加できず、全体の財務状況などを十分に把握できていませんので、確信をもって意見ができませんが、主要な評価項目を計画と比較した場合、もう少し改善すべき点があろうかと考え、上記(A-)のような評価としました。

令和5年 7月 日

亀岡市立病院経営審議会

会 長 伏 木 信 次

【附属資料】

亀岡市立病院経営審議会委員名簿

(敬称略・順不同)

氏名	役職	備考
伊多波 良雄	同志社大学創造研究センター 嘱託研究員	
吉村 了勇	伏見桃山総合病院 病院長	副会長
温井 雅紀	亀岡市医師会 会長	
伏木 信次	京都中部総合医療センター 総長 京都府立医科大学名誉教授	会長
新井 英植	公認会計士	
時田 和彦	京都府南丹保健所 所長	
佐々木 京子	亀岡市 副市長	
竹内 光雄	亀岡市自治会連合会 副会長	
若園 吉裕	京都桂病院 院長 京都大学臨床教授	
佐藤 裕見子	明治国際医療大学 看護部看護学科 教授	

審議会等開催状況(令和4年度～令和5年度)

開催	日時	内容
病院内説明会⇒供覧 (全職員対象)	令和4年4月27日(水)	・新中期計画令和3年度(1年目)実績を供覧形式で報告
令和4年度診療・部門別 ヒアリング調査 (全医師、部門長対象)	令和4年5月24日(火)～ 5月27日(金)	・今年度における取組事項等について意見交換
令和4年度第1回 亀岡市立病院経営審議会	令和4年6月28日(火) 午後2時00分～4時00分	・新中期計画令和3年度(1年目)の進捗状況について ・公立病院経営強化の推進について ・その他
病院内説明会⇒供覧 (全職員対象)	令和4年11月15日(火)	・新中期計画令和4年度(2年目)上半期実績報告 ・令和3年度病院事業会計報告 ・経営比較分析(令和2年度決算)
令和4年度第2回 亀岡市立病院経営審議会	令和4年12月27日(火) 午後2時00分～4時00分	・新中期計画令和4年度(2年目)上半期の進捗状況について ・南丹地域医療構想調整会議、公立病院経営強化プラン策定状況について ・電子処方箋の運用について ・その他
病院内説明会⇒供覧 (全職員対象)	令和5年5月11日(木)	・新中期計画令和4年度(2年目)実績を供覧形式で報告
令和5年度診療・部門別 ヒアリング調査 (全医師、部門長対象)	令和5年5月18日(木)～ 5月26日(金)	・今年度における取組事項等について意見交換

南丹医療圏域における病院の役割と今後について(令和4年度7月1日時点)

資料

医療機関名	亀岡シミズ病院	花ノ木医療福祉センター	亀岡病院	亀岡市立病院	京都中部総合医療センター
許可病床数	177床(一般132床、医療療養45床)	152床(一般152床)	108床(一般108床)	100床(一般100床)	464床(一般450床(非稼働52床)、結核10床・感染症4床)
主な診療科目(上位3つ)	内科、脳神経外科、泌尿器科	小児科、精神科、児童精神科	内科、泌尿器科(透析)、整形外科	整形外科、消化器科、循環器内科	内科、外科、整形外科
病床機能	急性期 58床、慢性期 119床	慢性期 152床	慢性期 108床、介護医療院 90床(転換日2019年10月)	急性期 80床、回復期(地域急性期含む) 20床	高度急性期 46床、急性期 301床、回復期(地域急性期含む) 103床
主な病院機能	救急告示病院 脳卒中(急性期・回復期・維持期)を担う病院	障害児者医療に特化した病院	在宅支援を担う病院(在宅療養支援病院) 脳卒中(維持期)を担う病院	救急告示病院 脳卒中(回復期)	地域医療支援病院、日本医療機能評価機構認定病院、地域がん診療病院、救急告示病院、急性期を担う病院(脳卒中、急性心筋梗塞)、回復期、維持期を担う病院(脳卒中、急性心筋梗塞)、第二種感染症指定病院、地域周産期母子医療センター、地域災害拠点病院、DMAT指定医療機関、へき地医療拠点病院、京都府難病医療協力病院、京都府エイズ拠点病院、認知症疾患医療センター、京都府地域リハビリテーション支援センター、原子力災害医療協力機関
新興感染症対応における病院機能	診療検査医療機関(外来医療) 療養支援(感染症からの回復患者受入)	特になし	診療検査医療機関(外来医療) 療養支援(感染症からの回復患者受入)	陽性患者の入院受入医療機関 疑似症患者の入院受入医療機関 診療検査医療機関(外来医療) 療養支援(感染症からの回復患者受入)	陽性患者の入院受入医療機関 疑似症患者の入院受入医療機関 診療検査医療機関(外来医療)
現状	グループ病院と連携した脳卒中の受入 脳神経外科医 常勤3名 急性期病棟、障害者病棟、医療療養病棟、ケアマネ、在宅サービス(訪問診療・訪問看護・訪問リハビリ・小規模多機能)と切れ目のない医療関係サービスを行っている 新型コロナウイルス感染症対応(発熱外来、ワクチン接種) 透析ベッドは、月水金:22ベッド、火木土:12ベッドで運用	地域の発達障害にかかわる医療・福祉分野を担っている 京都府下全域及び他府県の重症心身障害児(者)の入院施設	令和4年度より全床障害者病棟として、慢性期医療を担っている。 訪問診療に関して、在宅療養支援病院として、地域の支援診療所と連携して対応している。 コロナ回復後の療養支援入院を受入れている。	急性期病床80床、地域包括ケア病床20床を運用中 新型コロナウイルス感染症対応(発熱外来、入院治療、ワクチン接種) 訪問看護、介護予防訪問看護を運用中 救急医療対応	地域医療支援病院として、地域の医療関係者の方々の「顔の見える関係作り」を推進し、診療所・クリニック等では対応の困難な専門的な検査や高度な治療、手術及び救急医療等を行い、地域包括ケアシステムの中心的役割を担っている。 高度急性期・急性期医療では、がん診療、循環器・消化器診療など31診療科による高度専門的医療を提供するとともに、地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟を活用し、円滑な在宅復帰を図っている。また地域の医療従事者への研修・教育を促進し、CT、MRIなどの医療機器の共同利用を実施している。 第二種感染症指定病院として新型コロナウイルス感染症診療を行い、令和4年10月末までで総計487人の入院(軽症205人、中等症1111人、中等症II144人、中等症II-NHP20人、重症7人)を受け入れ、医療圏のコロナ感染症診療体制の中心を担っている。 令和3年6月に導入したダビンチシステム(Intuitive Surgical社製「da Vinci Xiタイプ」)により、泌尿器科領域で54例、消化器外科領域で30例の手術を施行した。今後も最新の医療機器を用いて、最善の医療が提供できる。2024年に「医師の働き方改革」を控えて地域の拠点病院として医療圏における医療需要に応えるために医師不足、診療科偏在に対応し専門医・専攻医や看護師・助産師等の人材確保を更に行っていく必要がある。 ICTを取り入れた労働時間管理の適正化や会議の効率化を行い、タスクシフト/シェアとしての医療事務作業補助者(当院では20:1配置)の活用、看護師特定行為研修制度の推進(当院では外科手術後領域、クリティカルケア領域、精神疾患領域などでスタッフが活動)、PBPによる持参薬の継続処方を行う薬剤師など多くの専門職種の協力を得ながら、適切な医師の労働時間の管理を行い、医師労働時間短縮計画を策定し、B・C水準の申請に向けての準備を行っている。 本館診療棟、第1病棟など老朽化した施設への対応として、現在分散化している施設を新しく第2病棟側へ建替えることで関係部門等の集約化を図り、With/Afterコロナ時代に適応できる医療提供体制を構築する。 外来医療機能も分化・連携が求められており地域の実情に応じた医療提供体制の確保を目指して地域の医療機関との連携を更に強化していく。
課題	常勤内科医師の人員不足による救急受診率の低下 医師の高齢化 常勤看護師(夜勤対応可)の確保 急性期病棟の活用 病診連携(逆紹介) 病院の耐震化、設備、機器の老朽化	老朽化する病棟ライフライン整備 外来の発達障害診療依頼から初診までの待機期間が長期になっており、解消に向けた対策が喫緊の課題 発達障害診療において、診療報酬で収支均衡が取れないこと 小児科及び精神科医師の確保	今後、増加する在宅医療を見据えて、地域包括システムに求められている医療・介護・福祉の連携強化を必要とする。 内科常勤医の確保。 看護師の確保。	求められる医療体制に関わる医療資源(医療従事者や医療機器等)、財源の確保 設備の更新に係る財源確保 医師の働き方改革への対応(夜間救急等の当直も含む) タスクシフト/シェアの推進(医療専門職種の法令改正への対応、業務の再構成など)	新興感染症が第8次医療計画に組み込まれようとする中、新型コロナ感染症を経験し、重症患者への対応を含めた病床設備や人的資源が不足した教訓を活かし、日本における感染症への対応概念を一新した取り組みが求められている。地域医療支援病院・第二種感染症指定病院として平時と非常時の医療提供体制の確保を目指す。 With/Afterコロナ時代・少子超高齢時代における医療を見極め、地域の拠点病院としての高度急性期・急性期・回復期・在宅支援機能を維持していく。今後も医療圏の各医療機関との役割・連携を明確にし、高齢化が進む地域住民の皆様が健康寿命を延ばしてサクセスフルエイジングを達成すること、また「Aging in Place」(住み慣れた場所で安心して自分らしく年をとる)を実現できるよう地域完結型医療の推進と地域の医療水準の向上に貢献していく。 行政、医師会と協力し、地域災害拠点病院、へき地医療拠点病院として新棟を整備し、病院が目指す姿(コンセプト)は、「30年後も光輝く地域の拠点病院」であり、以下に当院が目指す基本的な考え方を示す。 1)地域住民の安全・安心を守る病院 ～南丹医療圏の礎として高度急性期機能・救急医療・高度専門医療・小児周産期医療を強化～ ～回復期機能・在宅支援機能の充実～ 2)地域医療連携の核となる病院 ～地域医療支援病院として地域包括ケアシステムの中心的役割を強化～ ～AI技術を取り入れたICT化の促進～ 3)災害・感染症に強い病院 ～災害拠点病院としての役割を維持～ ～新興感染症への診療体制強化～
今後担う役割	救急受入体制の充実 慢性期医療を担う病院として、高度急性期、急性期医療からの切れ目のない受入体制と施設介護、在宅医療への連携	発達障害児等への医療・福祉サービスの充実 在宅重症心身障害児(者)の災害時等の受け入れ体制の構築	地域の慢性期医療機関として、各医療機関、施設と連携のうえ受入れ体制と、介護事業サービスの充実。	整形外科疾患治療の充実 乳腺外科の継続 内科、外科救急への対応 医療設備、機器等の共同利用等(地域連携) 新興感染症への対応 皮膚科、泌尿器科、眼科、神経内科など専門外来の継続(非常勤)	
今後の展望	レスパイト入院の受入 病診連携の充実(逆紹介の促進) 透析ベッドの運用拡大	医療及び福祉分野の在宅支援への拡充展開 病棟改修	透析ベッド数の増床と、リハビリ機能の拡充を目的とした増築。 透析常勤医の充実。 在宅サービス全般(診療、看護、介護、リハビリ)の強化。	2025年に向けて、当該地域で効率的で医療資源を有効に活用できる医療体制の構築をすすめる。そのためには地域医療への役割、医療連携の推進等、社会情勢や医療環境に柔軟に対応できる体制を構築しながら、持続可能な地域医療サービスの提供を継続する。 医療～在宅までシームレスな医療サービスを提供するため、訪問看護ステーションを開設する。	

医療機関名	明治国際医療大学付属病院	圓部病院	丹波笠次病院	国保京丹波町病院
許可病床数	114床(一般 114床)	60床(一般 60床)	85床(医療療養 51床、介護療養 34床)	47床(一般 47床)
主な診療科目 (上位3つ)	内科、外科、整形外科	整形外科、外科、内科	内科、外科、眼科	内科、外科、整形外科
病床機能	急性期 23床、 回復期(地域急性期含む) 37床、 慢性期 54床	急性期 60床	慢性期 85床	急性期 47床
主な病院機能	一般急性期病院 在宅療養支援病院 高齢者の生活の質の向上・改善・維持を担う、亜急性期病院	救急告示病院 在宅療養支援病院	慢性期医療	救急告示病院として、主に船井郡内の1次救急から2次救急の一部に対応している。 へき地医療拠点病院として、医師少数スポット地域である和知地域を医療圏にもち、同所にある和知診療所に外来医師を派遣し診療にあたる。 在宅支援病院として、船生郡内全域の在宅医療を担当し、訪問診療のみならず訪問看護・訪問リハビリ・訪問薬剤管理指導・訪問栄養管理指導も行っている。 (維持期)脳卒中患者の受け入れを担う病院として、リハビリや外来・入院診療を提供している。
新興感染症対応 における病院機能	診療検査医療機関(外来医療) 療養支援(感染症からの回復患者受入)	診療検査医療機関(外来医療)	診療検査医療機関(外来医療) 療養支援(感染症からの回復患者受入)	診療検査医療機関(外来医療)、療養支援(感染症からの回復患者受入)、その他の機能領域が1つしかない医療機関であり、感染症患者に対するゾーニングや看護体制の分割が物理的に不可能である。そのため、入院管理はできないが、外来を一般外来と分離することは可能であることから検査及び外来診療を行うことは可能である。又、受け入れ期間が短くなった一般医療を当該でできる範囲で引き継ぐことや、感染症からの回復患者を一定期間当該で受け入れることも実現している。
現状	過疎化が進む、日吉町、美山町、京丹波町を中心に、在宅医療も含め総合的な医療を担う病院としての位置づけ。常勤医13名と府立医大からの非常勤医師派遣等により、16の診療科を擁する。地域の医療機関や介護施設とも積極的な連携を取っている。	常勤医師5名(整形外科1名、外科2名、内科2名)体制 リハビリスタッフが比較的充実している(PT 16名、OT 1名) 在宅療養支援病院である。	病棟、外来ともに慢性期医療を担っている。また、介護保険制度を利用した通所リハビリでは維持期のリハビリを行っている。 入院患者に関しては、急性期又は回復期の医療を終えられた方への入院の継続、施設入所の調整を行っている。	開業医の居ない町において町内唯一の一般患者の入院を受け入れる公立医療機関として、外来診療と入院診療を実施している。更に、地域包括医療ケア認定施設として、地域における地域包括医療ケアを推進すべく、検診・学校医・健康教室などの予防医療を始め、介護が必要となった場合の施設での対応や、通院困難者に対する在宅医療の提供など、多岐にわたる機能を担っている。 また、回復期患者の入院治療も可能とすべく、一般病床47床のうち、地域包括ケア病床として14床を整備している。
課題	常勤医(内科医、外科医、眼科医、麻酔科医等)の確保に苦慮しており、地域に医療需要はあるが、114床のベッドが活用しきれていない状況。 薬剤師、看護師の確保にも苦慮している。 施設・設備の老朽化への対応。	看護師(病棟)及び一部コメディカルスタッフの不足	高齢者世帯、独居高齢者のキーパーソンの所在等、行政・福祉サービスとの連携強化。 患者数の確保	医療不足が最大の課題となっているが、ただ医師を補充することだけで足りるわけではなく、地域で求められている総合診療医の確保が困難であることが現状の課題として挙げられる。 また、常勤医不足を非常勤医に頼ることとなり、運営的には医療機能のバランス低下や経営的には人件費の上昇も招いている。
今後担う役割	地域の高度急性期病院と、地域の診療所や介護施設との橋渡しの役割を担う。 地域の医療ニーズ全般に応じるため、急性期から亜急性期、慢性期を含め、幅広い受入を行う。 在宅復帰の支援として、在宅診療、訪問看護、訪問リハビリ等を充実させる。	救急医療 在宅サービス(訪問看護、訪問リハ、訪問診療)	施設・在宅での生活が困難な入院患者の受け入れ 外来、入院ともに慢性期医療の提供 地域の医療機関との連携	地域包括医療ケアを推進すべく、この地域の最前線の医療機関として役割を果たすとともに、後方の基幹病院との連携と役割分担を行うことにより、基幹病院における医療集中が緩和できるように努めることも同時に必要とされている。
今後の展望	地域住民の健康寿命の延伸を目指し、寝たきりにならないためのリハビリ(入院・外来・訪問)を実施するため、セラピストの増員を図る。 高齢者施設との連携を強化し、当該地域で医療と介護が完結できる地域医療環境を構築する。 南丹医療圏の中で、各医療機関が単独で医療及び介護を展開していくのではなく、医療圏全体を捉えて、医師や看護師、セラピストなど全職種が、相互的に連携を取り合い、行政も巻き込みながら、地域住民を中心とした医療や介護を展開していく方法を、各医療機関の役割分担も含めて協議していきたい。	地域包括ケア病床の有効活用 電子カルテの導入による情報共有及び患者サービスの向上 等	患者や家族、そして地域の方々に求められる入院、外来、在宅医療、介護サービスを提供するための医療機関として地域ニーズの変化に対応したい。	南丹医療圏の構成医療機関として地域の実情に応じた医療を提供し、地域包括医療ケアを推進していくことが当該に求められている。そのためにも総合診療医の育成と確保は必要であり、総合診療専門医プログラムや内科専門医プログラムに基づいた専攻医の受け入れを始め、若い医師にも最前線の地域医療を経験していただくことや、地域医療に興味を持っていただける医師を、一人でも多く輩出できるように今後も努めていきたい。